

獅子島の自然・食・人にふれる



↑七郎山山頂で、絶景を楽しむ参加者



↑アオサ汁などのおもてなし



↑ゴール！



↑会場内では特産品の販売も



↑太鼓で歓迎する児童たち



山頂を目指す参加者

→片側港で打ち上げられた花火



↑桂竹丸さん



↑桂米助さん

落語を楽しむ

（獅子島ウォーク前夜祭）

獅子島ウォークの前日となる2月6日の夜、獅子島小中学校の体育館では町制施行10周年記念獅子島ウォーク2016前夜祭「桂米助・桂竹丸二人会」が開催され、有名な二人の落語家を一目見ようと、島内から約150人が詰めかけました。

二人会では、始めに桂竹丸さんが鹿兒島弁を織り交ぜたダジャレを連発して場を盛り上げ、桂米助さんが、出演していたテレビ番組「突撃！隣の晩ごはん」の収録時のエピソードなどを話した後、本格的な落語を披露しました。

二人の落語が終わると、片側港では、約70発の花火が打ち上げられ、盛大な前夜祭となりました。

獅子島アイランドセンターを発着点として、七郎山（標高393㍎）山頂を折り返すウォーキング大会「獅子島ウォーク」が2月7日、県最北端の島「獅子島」で開催されました。

根強い人気を誇るこの大会は、昨年12月に募集したところ、県内外から約1200人の申し込みがあり、抽選で選ばれた約600人が参加しました。

参加者は、獅子島小中学校の児童生徒による太鼓で歓迎を受けた後、午前10時に出発し、13㍎のコースをそれぞれ自分のペースで歩いていました。折り返し地点となる山頂では、島民のかたが振る舞ったポンカンや飴をほおぼりながら、360度に広がるパノラマ風景を写真に収めようとする姿が多くみられました。

ゴールでは、ブリやタイ、アオサなどの特産品が当たる抽選会も行われ、地元婦人会手作りのアオサ汁とおにぎりで参加者をもてなしていました。

天草市から参加した渡辺秀昭さん（80）は「山頂で見ることのできる景色も、抽選会で当たる特産品もスケールが違う。体力が続く限り来年も是非参加し続けたい」と、汗を拭きながら笑顔で話しました。